

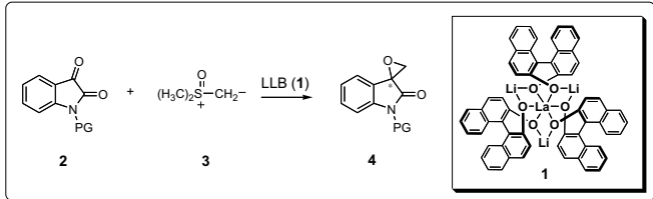
26Q-am007

イサチンの触媒的不斉 Corey-Chaykovsky エポキシ化反応の開発

○毛利 伸介¹, 松永 茂樹¹, 柴崎 正勝¹(¹東大院薬)

【目的】オキシインドールは医薬や天然物に多く見られる構造であり、光学活性オキシインドール類の合成は重要な課題である。当研究室では硫黄イリドを用いた触媒的不斉 Corey-Chaykovsky 反応に取り組んでおり、 α, β -不飽和ケトンに対するシクロプロパン化¹及びケトンに対するエポキシ化²を成功している。本手法をイサチンへの硫黄イリドの付加へ適応すべく検討を開始した。

【結果】La-Li₃-tris(binaphthoxide) (LLB **1**)を用いることでイサチンのエポキシ化が進行し、中程度の選択性にして生成物 **4** を得る事に成功した。現在さらなる選択性の向上に向け検討を行っている。



1) Kakei, H.; Sone, T.; Sohtome, T.; Matsunaga, S.; Shibasaki, M. *J. Am. Chem. Soc.* **2007**, *129*, 13410-13411.

2) Sone, T.; Yamaguchi, A.; Matsunaga, S.; Shibasaki, M. *J. Am. Chem. Soc.* **2008**, *130*, 10078-10079.